



尾花沢を背負って立つ学校～自分たちで創り上げるシン尾花沢中～

校長通信

輝け！シン尾花沢中

真理のとびら うちひらく 希望にもえる わが学園

第102号
令和7年
10月9日

福原中との交流を深めました～1年生芋煮会～

8日（水）に、福原中1年生との交流事業も兼ねた、1年生芋煮会がありました。

本校の目指す学校像は「尾花沢を背負って立つ学校～自分たちで創り上げるシン尾花沢中～」ですが、今年度の重点は「福原中を迎える心がまえ」の醸成です。「同じ釜の飯を食う」ならぬ「同じ鍋の芋煮をつくり、食う」で、交流が深まったことが、次に示す感想からうかがえます。



こうだい
黒田煌大さん：すべての工程を自分たちで行いました。初めての中学校での芋煮会で、私自身はとても成長できたと思います。準備から料理、片付けまで、先生から手伝ってもらうことはあったけれど、大部分を班のみんなで協力して行うことができて本当に良かったです。来年は、福原

中と統合するので、今日のことを忘れずに、福原中の仲間と接していくたいです。

かいと
佐藤海杜さん：僕は福原中と一緒に芋煮会をして、前回の交流会よりも、いろいろな人と協力し合い話し合いながらつくることができたので良かったです。来年、福原中と一緒にになることがあります楽しみになりました。



こころ
渡辺心優さん：自分たちの班には福原中の生徒はいなかったのですが、他の班の福原中の生徒が食べててくれて、楽しかったです。来年は一緒にになりますが、待っていられないくらい「早く来てほしい」と思いました。

りあん
石川莉愛さん：前回の交流会よりも福原中の1年生と話すことができて楽しかったです!! また、みんなで協力して火おこしや料理ができるてよかったです!! 自分の班の芋煮もとてもおいしかったです。今後も福原中と交流したいし、来年一緒にになるのが楽しみです!!

とあ
加藤叶愛さん：初めて福原中の1年生とお話をしましたが、初めてにもかかわらず意外と話すことができました。「何の部活動に入っている？」という質問やおもしろい発言などがあり、とても楽しかったです。また、一緒に協力して、美しい芋煮をつくることができてうれしかったです。来年が楽しみです。

須田かりんさん：火おこしをしている間に野菜を切るなど、福原中の人たちと協力して芋煮をつくることができました。前回の交流会ではあまり話はできませんでしたが、みんなと協力するために話しかけてみたら、とてもやさしく答えてくれてうれしかったです。



来年度、福原中学校を迎えてシン尾花沢中を創りあげるのは…、 そう、君たちです。

【文責：校長 工藤雅史】